

歴博 暮らしの植物苑だより

暮らしの植物苑観察会

第100回 7月28日 13:30～ 観察会100回記念

観察会先着200名様記念品プレゼント

「市民のための暮らしの植物苑」 辻誠一郎 (東京大学大学院)

第101回 8月25日 10:00～ 時間が通常とは違います

「変化朝顔の世界」 仁田坂英二 (九州大学大学院)

今週の見どころ 毎木曜日更新: <http://www.rekihaku.ac.jp>



一江戸を咲かすー伝統の朝顔

7月24日(火)から9月2日(日)

第9回を数える一江戸を咲かすー「伝統の朝顔」展が始まります。天候不順で発育が遅くなっていますが、咲き始めているものもあります。



黄斑入州浜葉紅吹掛絞牡丹咲



青斑入州浜葉淡黄牡丹咲



青水晶斑入縮緬立田葉紅赤車咲



黄縮緬葉鳩羽入台咲

今年のテーマは朝顔の色・朝顔の模様になります。

8月21日(火)～26日(日)までは、開苑時間が8時になります

朝一番の朝顔をぜひご覧ください

ウド (ウコギ科タラノキ属)

谷沿いのやや湿ったところに生えます。発育は旺盛で隣のコンニャクが小さく見えます。

白い手まりの様な散形花序をつけます。若芽はやわらかいですが、茎をやわらかくするのは、土に埋めたり、土の穴に入れたりして軟化させます。主の生産地は関東地方です。



ザッソウメロン (ウリ科キュウリ属)

元大阪府立大学の藤下則之先生によって採集されたメロンの仲間で、畑や牧草地に雑草のように生えています。いまは農薬によってほとんどみることが出来なくなっていました。全てが両性花なので果実が鈴なりに着きます。



苑内のほかのメロンと比べてみて下さい。

温室のメロンの右が雄花、左は雌花です。

サルスベリ (ミソハギ科サルスベリ属)

中国原産の落葉の垂高木で、樹皮がはがれやすく滑るのでこの名があります。6枚の花弁と30から40本の雄しべがあります。庭園木としてよく植えられています。



ゴマ (ゴマ科ゴマ属)

種子は脂肪と蛋白質にとみ、炒ってそのまま食用にしたり、搾って油にしたりして利用されます。茎は四角形で、葉腋に先端は5裂し下唇3裂片が上唇2裂片より長い、鐘状の花をつけます。



ヘビウリ (ウリ科カラスウリ属)

メロンの温室の中で1つだけ白いレースのような花を付けています。熱帯アジア原産の植物で細長く、ときには1mにもなります。雌雄同株で奇妙な果実の形を鑑賞します。50cmくらいの幼果をゆでて三杯酢や漬物にします。

